

送付あり 三月廿七日 陸軍大臣 小澤武雄

信子

先般は渡島成道別紙瓊浦丸航海
公證返納は同日領収有三度也

明治九年三月十七日 陸軍大臣 小澤武雄

外務正権大臣 田中

三田中野村大正一

森公使派清之市の務より古河刊條
漢海にも辨理大臣使館秘録中機密録
海入古案より送多の防方逐古副日
別号一々綴出号一

三十一日
上二万五

箱裡大臣使

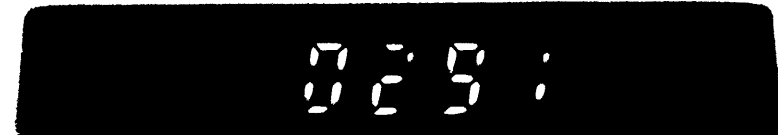
安田一平石如刺書

太政官

券

明治九年三月廿一日
 海軍大臣 大島浩行
 安田元孫 謹啓
 先般立派大島浩行、西郷、中
 樞、中、文、修、用、了、長、海、軍、大、臣、
 五、中、下、一、案、字、用、一、福、書、出、
 法、延、去、古、多、也、
 明治九年三月廿一日

海軍大臣大島浩行



明治九年三月廿八日
 總理大臣府
 安田副官
 史官
 一

REEL No. 1-0028

0252

併人我亦朝解地圖於武張信覽之者以
西天賦之可者有也

延治四年三月廿日

辭理大臣

出田開拓少和



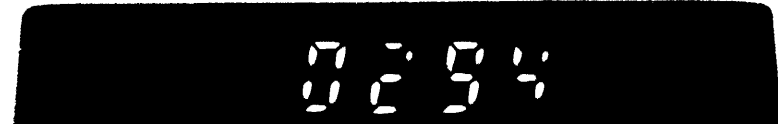
史記

開拓使

此知る口の口
 先般解理大臣 朝鮮子に書く
 書信しき海國に書く
 海國に書く
 海國に書く
 海國に書く
 海國に書く
 海國に書く
 海國に書く
 海國に書く

水路寮

海國に書く
 海國に書く
 海國に書く



証

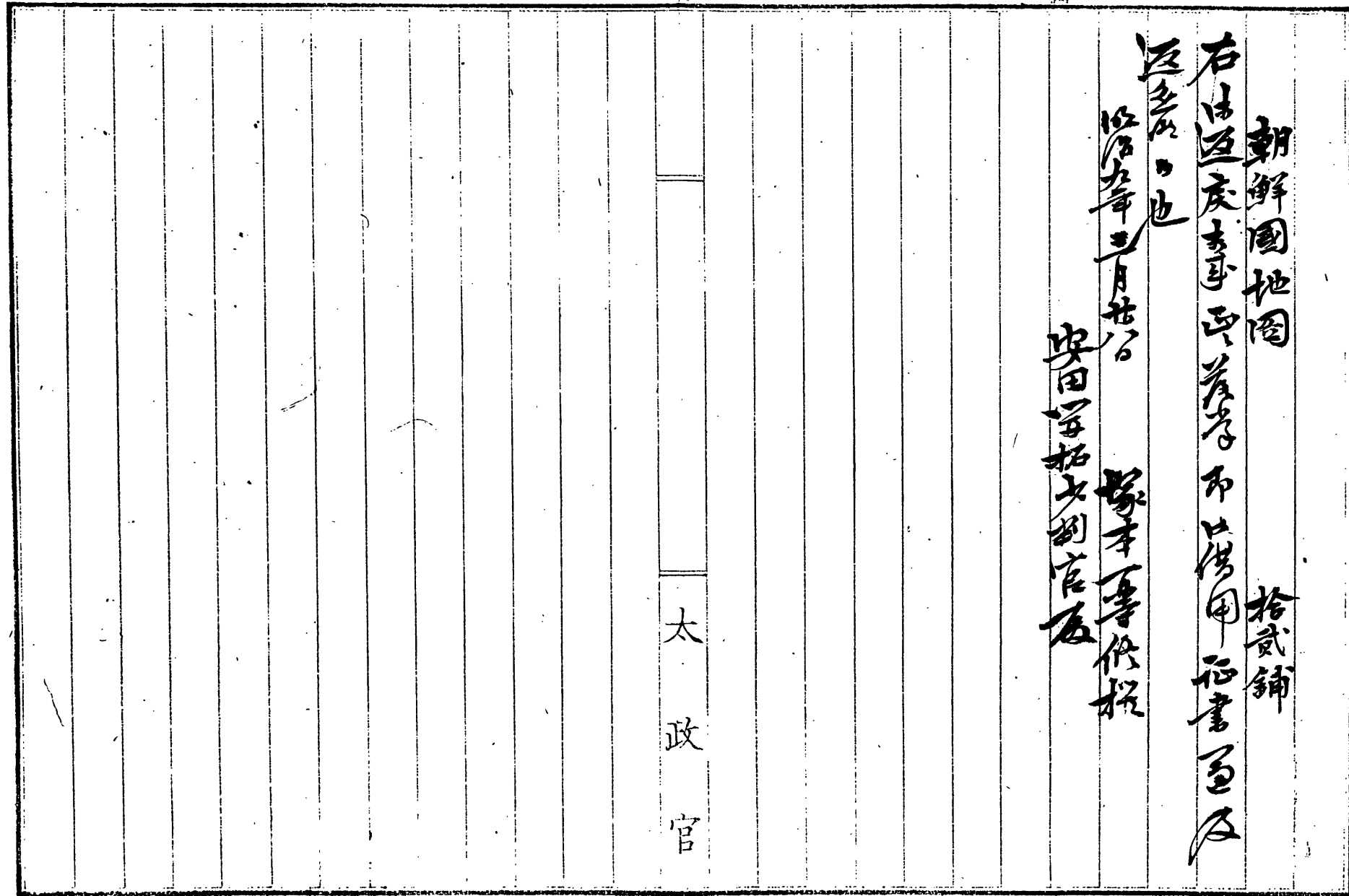
日本系船籍海軍少佐

右名方よりあるに依りて之を証す

明治三十二年十二月廿五日

安田隆祐少佐官





朝鮮國地圖

拾貳鋪

右由近度... 而... 用... 証書... 及

近多也

安田字拓大副官

家... 係...

太政官

西分七号

森公使派清... 外務卿... 被逐... 訓條
漢使... 西理大臣使解... 記録... 編入... 改及
候... 寫... 廻... 由... 尤... 機密... 部... 記載...
公... 刊... 布... 候... 儀... 多... 右... 領... 承... 至... 急
以... 送... 付... 由... 之... 授... 被... 度... 成... 任... 及... 以... 所... 形... 也

九年

三月廿四

西理大臣...
并抄少利官... 安田... 宣... 公

土方大内史... 後

西ノ北ノ五ノ事
朝鮮國ノ領土ノ推定
致シテ北海ノ領土ノ推定
五ノ領土ノ領土ノ推定
即チ五ノ領土ノ領土ノ推定
五ノ領土ノ領土ノ推定
九ノ領土ノ領土ノ推定

中田重雄少佐

五ノ領土ノ領土ノ推定

解玉望張之良豫備トシテ携行者既
於航渡公機ニ致差海外行免我五殺可
返却有故特標際及此中名也
九年四月十日 官本多路大極

安田閣振替名取
小牧閣振替名取

外務省



航海公證書
海防の先任中校
佐藤徳吉

REEL No. 1-0028

0302

證

一 號
號
號
號
號

右正三落手候也

四月廿日 外務省

第百三十四號	第百三十四號	第百三十四號	第百三十四號	第百三十四號	第百三十四號	第百三十四號	第百三十四號	第百三十四號	第百三十四號
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

月
日
庚

証

正副辨理大臣

一印章

四顆

右正致落手候也

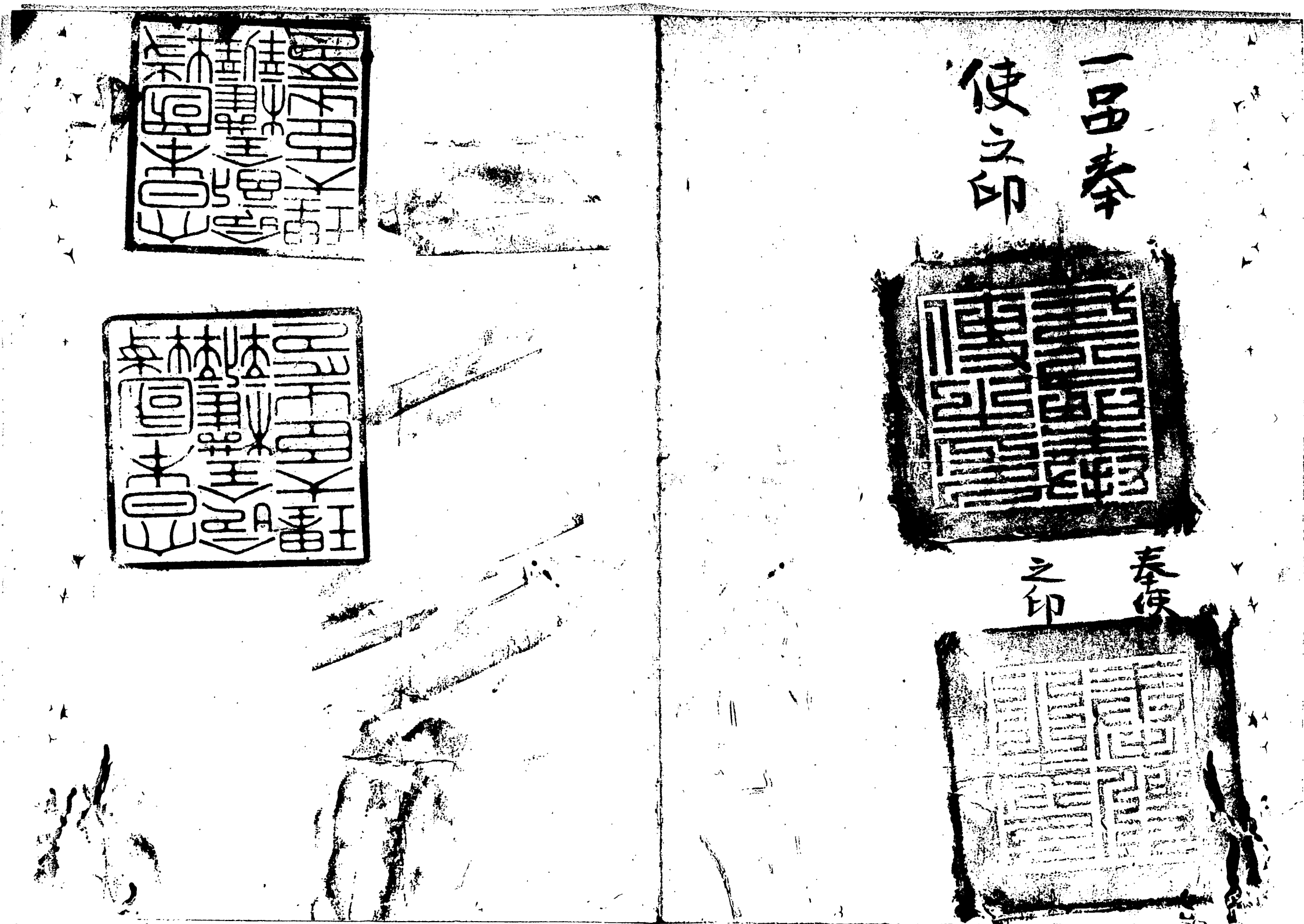
四月廿四日 史官

関根俊

以中

REEL No. 1-0028

0304



REEL No. 1-0028

0305

	書目	
一	形解と家傳録	一冊
一	通情抄	一冊
一	共信日記	一冊
一	通文抄	一冊
一	理のしるし	一冊
一	善宗の御交	一冊
一	大徳寺の御交	一冊
一	家傳記	一冊

REEL No. 1-0028

0300

先般朝鮮國へ出張之際携帶之謄寫書類
本日丙寅第三拾二号ヲ以テ引継承取
手致シテ前テ添テ裁テ如ク請取可
奉之通差進以戻回奉可也

九年丙寅

森山 勇 大 丞

密閉封筒宛

外務省

証	一朝鮮文際録	貳冊
	一高濂概畧	壹冊
	一使清日記	四冊
	一通文館志	三冊
	一理事日表	壹冊
	一善隣通交	五冊
	一大典會通	五冊
	一象胥紀聞	三冊
	古書目之通訳引続之片四之查以法乃也	
	外務省	
	加察有	
	朝鮮之	
	九年四月廿七日	
	開拓使	



九月十五日
百五十五号

此後... 程... 文... 海... 部... 彼...
... 年... 二...
... 年... 七...
... 年... 三...
... 年... 二...
... 年... 一...
... 年... 十...
... 年... 九...
... 年... 八...
... 年... 七...
... 年... 六...
... 年... 五...
... 年... 四...
... 年... 三...
... 年... 二...
... 年... 一...

三
山
一
白



18

院 新 刊 本

新 刊 本

REEL No. 1-0028

0311

丙申年十月

米俵御理 備定於米回証書藏致
以首御理 系考之為修院致致
至方往多ハ十月ハ此此合五斗五斗
右者御理方臣推方世帯一書籍一回
本幕山五斗五斗五斗五斗五斗五斗
と考及凡回答也

九年六月十二日

南極野史

北野不才

ウ申



丙申年十七年

今般理事官トシテ朝鮮國ト赴任被致
其年同國曆借用或ハ漢文ト家性加ハシ
其年以ハ依新ニシテ年々其ノ右曆ヲ中
以テ由リ第
理大臣推シテ書翰一ヨリ而テ古クシテ
引伸シテ其ノ後ハ其ノ後ハ其ノ後ハ其ノ
以差廻シテ年々其ノ後ハ其ノ後ハ其ノ
九年六月廿三日

開拓使

外郎官ニ至ルヤ反

開拓使

小



三ノ下以漢中
三ノ下

<p>西本五十五 朱使使理清字於京回信書或致亞有編輯 參考し為情報致致言方中事三月日理系 他七年三月日致言東抄又中月十日理系八十年 之先般由空之長致詳因之推事(書本) 儀(書本)致言方中事三月日理系八十年 年九月廿十日致言東抄又中月十日理系八十年 通以丁次キ致言東抄又中月十日理系八十年 九年六月十日致言東抄又中月十日理系八十年</p>	<p>外務省 森山 茂俊</p>
--	------------------

并使被理締定以来同詳書或新商省記海編詳
系考之為借覽波之度後本年三月以来以
今之未出丙寅五移五号より古書類を津徳
為著之等之先叙辨理大臣朝拜國之格等之
言今叙使詳發智整頓存之同係書類目錄
付より津波の他中叙出照會之級順取別目錄
對照並收波之別紙註記書中係津波に言及り

九年六月十日

外務省
外務大臣
外務省

國拓司官安田定則

外務省

小



書目

一 米使彼理緯交始末

貳冊

一 米使彼理緯交始末

三冊

一 日本史稿

壹冊

一 日本史稿

壹冊

一 日本史稿

壹冊

一 馬関戦争始末

壹冊

一 高麗軍情始末

壹冊

一 高麗軍情始末

壹冊

一 日本地誌提要

壹冊

一 日本史抄

壹冊

一 職官表

貳冊

一 改正陸軍限制図

貳冊

外務省

一 改正陸軍限制図例

貳冊

一 改正陸軍限制図

貳冊

一 海軍武官限制

貳冊

一 海軍武官限制

壹冊

一 朝鮮北道誌後編

壹冊

一 大清時憲書

貳冊

一 考案摘要

壹冊

一 航海公況

一系

一 同免狀

一系

一 濟物浦測量圖

一系

一 陸河航路圖

一系

一 江華航路圖

十五系

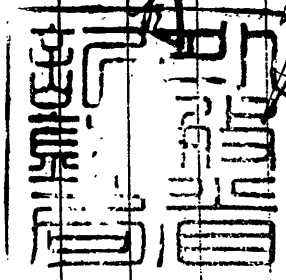
新

右書類字の徳月西の落子波

九年六月廿日 外務省

岡本俊

少



外務省

REEL No. 1-0028



丙午年十月十四日
使館事務局
及三馬儀席見為高砲擊ホコ各件更若
人原書ハ初初以局史料ハ為一時修説
被改多言中身三月十日而初ハ上号ヨリ
各事并交交等般使館致為ノ都合ヨリ
推考常ノ書籍ハ外務省ノ引次中ニ係
在ル然會中事至止ルナリ進多也

九年二月十四日 使館事務局

館史局

甲申

西暦一千九百零三年
 先般里向物産部所屬の海國地誌一冊は
 借用五斗舟及び江華等所産の志一冊は
 致し先條所産の志一冊は
 五斗舟及び江華等所産の志一冊は
 九年六月廿四日
 河村鑑久殿



聖徳太子御書

皇極經世一書

皇極經世一書

皇極經世一書

皇極經世一書

皇極經世一書

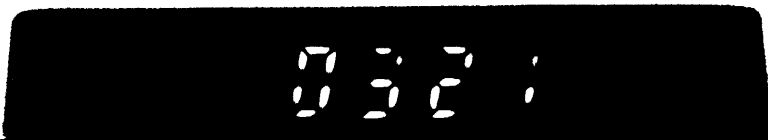
皇極經世一書

皇極經世一書

皇極經世一書

皇極經世一書
皇極經世一書

皇極經世一書
皇極經世一書



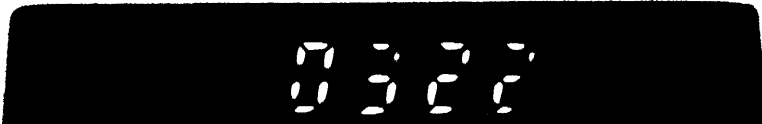
光緒二十六年六月廿四日
分第...号

第四卷分百四十二卷
黑田志理大於朝鮮國
一冊法借用江華府誌
世首及四回...
以治九年六月廿四日

安田海路少...

海軍省

REEL No. 1-0028

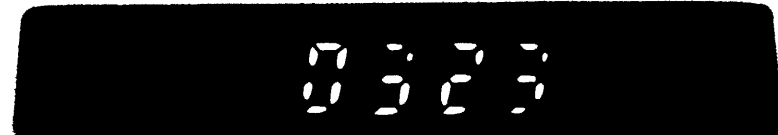


八百廿年西渡は...
牛一巨細...
リ...
...
...
...
...

大... 小...

開拓使

開拓使





黒田年理臣報得國之旨下談判未條約調印
 在威を劃^一於^二華^三法^四帝^五律^六中^七帝^八法^九以^{一〇}引^{一一}繼^{一二}帝^{一三}律^{一四}
 留^{一五}信^{一六}之^{一七}不^{一八}備^{一九}至^{二〇}其^{二一}後^{二二}之^{二三}一^{二四}時^{二五}信^{二六}用^{二七}之^{二八}故^{二九}告^{三〇}
 初^{三一}以^{三二}打^{三三}之^{三四}了^{三五}遂^{三六}成^{三七}了^{三八}之^{三九}事^{四〇}右^{四一}帝^{四二}法^{四三}以^{四四}信^{四五}用^{四六}之^{四七}故^{四八}告^{四九}
 西^{五〇}山^{五一}張^{五二}帝^{五三}律^{五四}中^{五五}之^{五六}旨^{五七}帝^{五八}法^{五九}以^{六〇}引^{六一}繼^{六二}帝^{六三}律^{六四}
 繼^{六五}之^{六六}中^{六七}義^{六八}之^{六九}方^{七〇}之^{七一}且^{七二}信^{七三}解^{七四}是^{七五}信^{七六}解^{七七}條^{七八}之^{七九}旨^{八〇}帝^{八一}法^{八二}以^{八三}引^{八四}
 中^{八五}法^{八六}帝^{八七}律^{八八}中^{八九}之^{九〇}旨^{九一}帝^{九二}法^{九三}以^{九四}引^{九五}繼^{九六}帝^{九七}律^{九八}
 其^{九九}帝^{一〇〇}法^{一〇一}律^{一〇二}中^{一〇三}之^{一〇四}旨^{一〇五}帝^{一〇六}法^{一〇七}以^{一〇八}引^{一〇九}繼^{一一〇}帝^{一一一}律^{一一二}
 之^{一一三}旨^{一一四}條^{一一五}條^{一一六}右^{一一七}以^{一一八}了^{一一九}之^{一二〇}事^{一二一}方^{一二二}之^{一二三}交^{一二四}往^{一二五}之^{一二六}旨^{一二七}帝^{一二八}法^{一二九}以^{一三〇}引^{一三一}繼^{一三二}帝^{一三三}律^{一三四}

開拓使

ナリ信〇

中法帝律

出答ニテ

皇太后陛下

癸卯年三月廿六日
外務省
第...号



									外務省		可拓制を	可拓制を	可拓制を	可拓制を	可拓制を	可拓制を	可拓制を	可拓制を	可拓制を
--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	--	------	------	------	------	------	------	------	------	------

使館...
...

本年九月中陽用... 既解... 係... 合... 依... 西... 名... 係... 以... 係... 子... 上... 法... 五... 形... 以... 為... 通... 之... 以... 母... 氏... 氏...

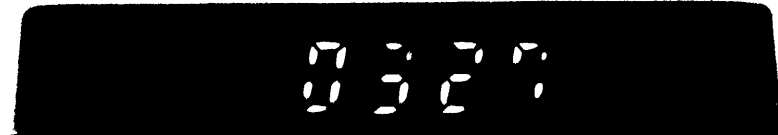
九年十月十四日

常用事務官

外務省

記録局長

開拓使



本年九月五日有以朝鮮文際錄中借字
被檢校後少照會者其則以在進置五季之那
今該書入用し俄方之字亦少照會之及
此少照會及上上

外務省

明治九年三月十日 記録局長

安田閣下判書殿

外務省

25431504

御座候

申上申 事務方申

辦理の事有るに於ては御座候
申上申 事務方申
信彩也

九月十日

外務省

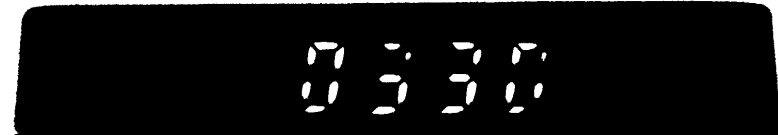
辨理始末取調筋有之入用存之
冊送段之點与少之入曾致承知之即
少面シヤ之條用流少迄之有之度此
再及之其之也
明治七年十一月下

三六

史官

外務省少丞
平

太政官



下字を以て出た中何支度亦一
三ノ内七枚有之部一ノ内
公認の上を以て也

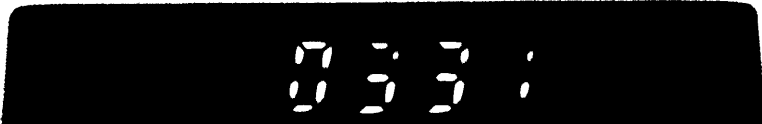
三ノ内

日英 事務

事務

下字を以て出た中何支度亦一

外務省



八二四

85

此字は古語に於て、
とある者、今二部一に
此は之を出さるるは
二部一に於て

本字は

要するは

此は古語に於て、
とある者、今二部一に
此は之を出さるるは
二部一に於て

開拓使

0332